

平成28年 9月12日

研究公開用文書

研究名：非寛解期急性白血病における同種移植の成績：関東造血幹細胞移植共同研究グループ（KSGCT）多施設共同研究

研究の概要：非寛解期急性白血病の同種移植成績は不良である。しかしながら、その実態は多様であり、予後因子も確立されていない。そこで、本研究では、関東造血幹細胞移植共同研究グループ(KSGCT)による多施設共同後方視的研究として、症例調査票および登録データを用いて非寛解急性白血病症例の同種移植の実態を明らかにし、予後因子を含む移植成績を解析することを目的とする。本邦における大規模コホートによる非寛解急性白血病移植の実態および予後因子が明らかになることが期待される。これらは、治療戦略や予後予測に有用となり、さらには治療成績の改善につながる可能性も期待される。

研究対象：2005年1月から2015年12月までKSGCT参加施設において、非寛解期急性白血病と診断され、初回同種造血細胞移植が実施された16歳以上の症例を調査対象とする。

研究責任者：

横浜市立大学医学部

所属：血液・免疫・感染症内科学 氏名：松本 憲二

研究実施期間：

平成28年9月承認日 ～ 平成33年6月30日

連絡先：患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡下さい。

拒否された場合、患者さんにとって不利益になることは一切ございません。

また、この研究のために患者さんの負担や危険が増えることはございません。

横浜市立大学医学部

所属：血液・免疫・感染症内科 氏名：松本憲二

〒：236-0004

住所：横浜市金沢区福浦3-9 電話：045-787-2800